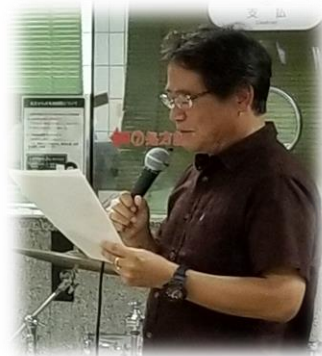


琉球大学職員による敬老の日ライブ

9月7日(金) 19時~20時、病院2階外来ホールで琉球大学職員有志一同による敬老の日ライブ開催! 「若手マース」と「き・ジムナー」の歌と演奏で盛り上がりました。



福治友英理事・副学長の挨拶



司会：我那覇



藤田次郎病院長の挨拶



左から) ギター：宇榮原、ベース：鈴木、ボーカル：大宜見、ドラム：興儀、ギター：佐久真、キーボード：國場
若手職員ロックバンド「マース」による演奏：
東京フギウギ、夢の中へ、真夏の果実、ペガサス幻想、Stand By Me (New Arrange Ver)



左から) ギター・サクソ：城間、 リコーダー：我那覇 キーボード：稲嶺
ベテラン職員「き・ジムナー(インストユニット)」による演奏：
ジュピター(木星)、いつも何度でも、さとうきび畑、ハナミスキ、えんどうの花、三線の花



最後は患者さんも一緒に集合写真（※患者さんには掲載承諾済みです。）

藤田次郎 病院長挨拶

皆さま、本日は事務職員の「敬老の日ライブ!」に最後までご参加いただき本当にありがとうございました。皆様が熱心に聴いていただいたおかげで、事務職員も実力以上のパフォーマンスができたのではないかと感じています。

今回は、ロックバンドの「マーズ」と、インストユニットの「き・ジムナー」の2つのバンドの演奏会でした。前半のマーズは元気を与えてくれるような迫力のある演奏を、また後半のき・ジムナーは心に染みわたる癒しの演奏を披露してくれました。また医学部附属病院の職員のみならず、本部の職員までが、本日のライブにご協力いただきました。

さてこの2つのバンドの演奏が素晴らしかったのは、演奏者の根底に入院患者さんの心を癒したいという愛情があったからであると考えます。ボランティアの方々も含め、この企画にご尽力いただいた全ての琉球大学の事務系職員の皆様に感謝したいと存じます。

さて今日ご参加いただいた皆様にアドバイスしたいことを述べたいと存じます。入院患者さんのお仕事は病気を治すことです。病院の職員も同じ目的を持って勤務しています。この共通の目的を叶えるためには、琉球大学医学部附属病院の職員を信頼していただくとともに、常に前向きの気持ちを持つことが重要です。そして明るい色彩のものを身につけ、肌に艶をもたすことも重要であると思っています。変なアドバイスであると感じていますが、病院長として、ご参加いただいた患者さんの一日でも早い回復を心からお祈りいたします。

最後に、このような素晴らしいコンサートを企画していただいた、福治友英副学長に感謝し、私の挨拶を終わります。

主催：琉球大学職員有志一同

共催：徳明会、 琉大病院介護支援ボランティアの活動支援プロジェクト